

東京都における新型コロナウイルス 感染症流行状況を的確に捉えた 新たな対応の考え方

東京 i CDC 専門家ボード
令和3（2021）年2月

現状

都民・事業者の努力により、感染状況は改善しつつある

一方、従来株より感染力が強いとされる変異株による感染拡大リスクが生じている

都民の命を守るため、常に医療現場の逼迫を招かない対応が必要

対応の考え方

**保健所機能を最適な状態で維持し、
積極的疫学調査を効率よく実施**

**新たな感染拡大の予兆を迅速に捉える
ことで、流行の再燃を予防**

これまでの対応

感染者が多発している状況においては
集団における感染経路が複数存在



感染拡大防止のためには
行動制限が有効



流行状況を踏まえた臨時対応（1月22日）

今後の対応



今後、新規陽性者数が減少し、
クラスターの感染経路が特定しうる段階



保健所の調査機能を最大限発揮し、
感染が生じやすい状況の把握を強化、
積極的な介入を図り、感染再拡大を予防

対策移行の時期

**新規陽性者数※が
300人前後で推移する状況
となった時点で移行**

※7日間平均